



あいさつ運動の手引き

1. 市自治連の「あいさつ運動」と手引書作成について

＜神戸市自治会連絡協議会会長 堂内克孝＞

市自治連は、2021年にあいさつ委員会を立ち上げ、有識者を招いた懇談会から活動をスタートさせました。2022年度からは、神戸市の「地域課題に取り組むNPO等に対する補助」、2024年度には「神戸まちづくり六甲アイランド基金」の助成を得て事業を推進しました。その間、活動に必要な腕章・のぼり等のツール類作成、あいさつ運動に取り組む小学校区の見学会、各地域間の意見交換の場として懇談会、運動を広めるための研修会、地域の活動状況資料の収集と取りまとめ等の事業を行ってまいりました。

この度、これらの活動で得られた各地区の取り組み方やアイデアなどの成果を、「手引書」という形で取りまとめました。「あいさつの輪」が地域の絆を深め、地域の力を強くします。頻発する自然災害やこれから想定される南海トラフ地震に対する備えのベースにもなります。ぜひ皆さまとご一緒に地域の絆を深めてまいりたいと存じます。

2. あいさつ運動の意義とは

- ◆ 子どもの、①安全を守りながら、②健全な成長を見守ります。
- ◆ 子どもと大人、子ども同士、大人同士にもあいさつの輪を広げます。
- ◆ 「あいさつ+声かけ」が子どもの成長につながります。
 - あいさつや言葉を交わすことで、子どものコミュニケーション力を高め、地域社会から見守られているという安心感や自己肯定感につながります。
- ◆ 「あいさつと声かけ」の輪が、地域のきずなを強くします。
- ◆ それが、安心・安全で、暮らしやすい社会につながります。



3. 小学校区でのあいさつ運動の進め方は？

- ①学校や地域団体との共通認識づくりが大切です。
- 1) まずは、学校と共通認識を持ちましょう。
 - 2) 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）などを通じて、校区の諸団体と情報共有をすることが重要です。
 - 3) 単位自治会やPTA、青少協等の諸団体が単独で進めることはむずかしい時代です。地域の連携で進めていきましょう。

★小学校校長先生から寄せられたご意見

小学校校区はこれまでの統・廃合の歴史の中で、複数のふれまちや青少協などが存在しているケースもあり、校区として一つの活動を行う際、団体間の調整にご苦勞をおかけしておりますがご活動いただいている皆さまには、まずは“子どもの為に”ということを第一にお考えいただき各団体の協力関係でこの運動を進めていただきたいと存じます。

②校区内の安全マップを作成しましょう。

- 1) 校区内をみんなで実際に歩くことで、危険箇所はどこか、また“子ども110番”のステッカーを貼った店舗の位置はどこか等々…地図上に記載していきます。
- 2) 危険箇所とは：車の交通量の激しい場所、出会い頭の事故が起こりやすい場所、人通りの少ない場所、周りから見通しが悪い場所、隠れるところが多い場所、川や池がそばにある場所、昼間でも暗い場所、等々です。

※見守りは有志が個人的に、また自主的に見守りに立つところからスタートするのが自然ですが、この運動を継続し発展させていくためには、どこかの時点で安全マップ作成から始めて、校区を挙げて子どもたちを見守ることも重要なことではないでしょうか。

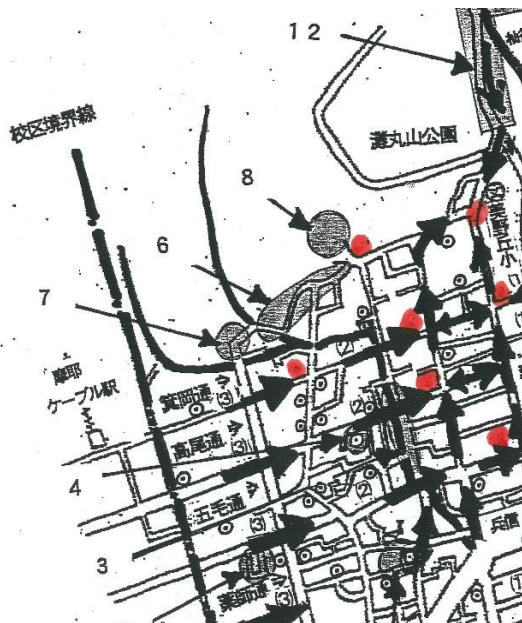
★小学校校長先生から寄せられたご意見

見守りグループだけでなく、保護者や地域在住の大人にも参画いただき、校区内をフィールドワークして、安全マップを作成することをお願いしたいと思います。

- 3) 学校と話し合っ、見守りグループが授業に参画し、安全学習の一環として子どもたちと一緒に安全マップを作成することも一案です。

神戸祇園小学校では、4年生の安全学習に、青少協などが参画して、クラス毎に通学地区別に安全マップを作成し、これをクリアファイルに印して配布しています。

7	やぶ・廃倉庫 木が生い茂っている。 使っていない倉庫がある。
8	山道・廃家・いのししの屋 階段を上がりやすく山道・廃 屋・いのししの屋がある。
9	山道・空アパート 屋でも暗い 人通りが少ない。
10	川沿いの細い道 川がすぐ下にあり危険である。
11	六甲川沿いの緑地 薄暗く、夜は明かりがない。 人通りも少ない。
12	袖谷川沿いの道 木々に囲まれ薄暗い。 人通り少ない山道。
13	崖・路 人通りが少ない隠れる場所 も多い。
14	山道・空き家 山の中に入れる。 空き家もあり見通しが悪い。
15	ガレージ 人通りが少ない。 気づかずにいる環境にある。



美野丘小学校校区の安全マップ（一部）



子どもたち中心で作った神戸祇園小学校
区の安全マップ（クリアファイル）

- ③通学路を調査し、見守り場所と人員配置、見守り時間などを決めます。特定の人に負担が片寄らないように、役割分担とローテーションづくりが大切です。

④あいさつ運動のツール類を準備します

あいさつ運動のぼり（校門などに設置）・あいさつ運動腕章（以上2つは神戸市自治連で制作）、

交通量の激しい場所では、車からも識別しやすいジャンパーやベスト（青少協、防犯協会、兵庫県※¹などに相談してください）、また必要に応じて横断旗なども用意してください。

※¹兵庫県の地域安全まちづくり推進員登録でジャンパー等の活動用品が支給されています。



市自治連作成の「のぼり」



ベストと横断旗例
(成徳小学校区)



市自治連腕章とマグネットシート



東灘小学校区設置の横断旗

4. あいさつ運動の実際

①登校時

時間帯は学校側と相談して、道中を含めた通学時間帯に見守りをを行います。見守り者と子どもが朝のあいさつを行い、自然な形で言葉を交わします。地区によっては、登校時は特に子どもの元気づけとコミュニケーション重視、下校時には、子どもの安全重視という考え方で実施しているところもあります。

②下校時

下校時間は学年によってまちまちで、見守り時間が長時間にわたることが、見守りグループにとっての課題です。また子どもにとっては、下校時には開放感が伴うので安全への配慮が大切です。さらに子どもは登校時とは異なる道から帰る場合もあるので交通安全には注意が必要です。

■下校時見守りは以下のような事例があります。

- 1) 低学年の下校時に絞り込んで見守りを行う。

東須磨小学校では、下校時間は低学年に絞り込んで、有志父兄が見守り活動を行っています。

- 2) 学校と協議して、一斉下校日を設けていただいて見守りを行う。

神戸祇園小学校区は、下校時の見守りについては、各地区がそれぞれバラバラで行って来ましたが、小学校として、火曜日に一斉下校を行うとのことだったので、毎月第2火曜日には、14時30分から各地区が連携して、一斉に見守り・声かけを実施することとしました。現在、校区内7か所で一斉見守りを実施しています。このことは、地区内で顔見知りの関係をつくることにも役立っています。



登校風景：御影小学校東門前で、登校生徒と、あいさつを交す先生と生徒



東須磨小学校の下校時見守りは、低学年の下校時間（14時30分～）に絞って実施



神戸祇園小学校区の一斉下校日

③交通量の激しい交差点の見守りは

- ・何よりも安全重視で
- ・学校で通行を指導している交差点に配置する
- ・警察との情報共有も密に
- ・見守り者はよく目立つ服装で
- ・できれば複数の配置が必要



ジャンパー例（成徳小学校区）

④信号機がなく、交通整理が必要な交差点の見守り

場合によっては、車に通行を待ってもらうこともあります。交通整理はあまりやりすぎないこと。協力いただいた運転者には会釈をするなどの心配りが大切です。

⑤見守り者を、子どもたちと学校関係者に識別してもらうための方策

～知らない人の声かけには答えないという指導に関連して

- ・のぼり設置、腕章の着用
- ・腕章を配布した人を学校に登録し、学校で見守り者として管理してもらいます
- ・校内に、見守り活動者の名前・写真張り出し
- ・学校と見守り者の交流の場を持っていただくよう、学校と協議する



東須磨小学校：玄関には、見守りグループの顔写真と名前を掲示しています



美野丘小学校：見守りグループの顔写真入りの見守りマップを作成しています

★小学校校長先生から寄せられたご意見やアイデア

「感謝の集い」を開催し、子どもたちや保護者から、見守り隊の方々への感謝の意を示す場を持ちたいと思います。

⑥子どもへの声かけは、自然な形で

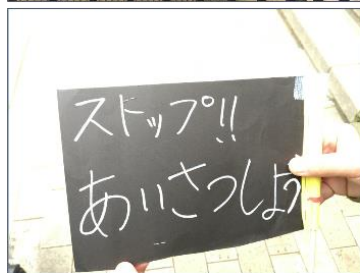
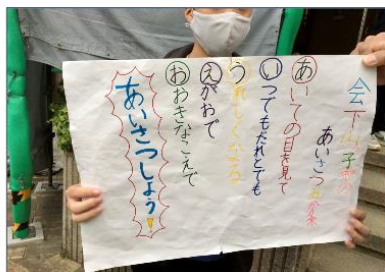
先ずは、こちらからあいさつを。返事が返って来なくても、こちらからあいさつを行います。あとは自然な形で言葉を交わします。無理はする必要はありません。

「今日は暑いね」「カバン重そうやね」等々...

5. あいさつ運動活性化のために

①子どもの参画意識の高揚

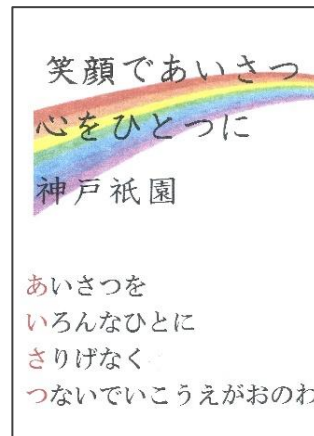
- ・児童が手作りツールを作成
- ・あいさつ啓発ポスターの表彰
- ・あいさつ運動月間、あいさつ運動週間



会下山小学校：玄関前で、児童が手作りのツールであいさつ運動を推進



井吹東小学校区：学童保育にて、「笑顔であいさつ」をテーマに児童が書いた絵を表彰しました



神戸祇園小学校：あいさつ運動を知って、6年生の実行委員会が考えてくれた標語です

★小学校校長先生から寄せられたご意見やアイデア

- 1) あいさつキャンペーンの実施（あいさつ標語、キャッチフレーズ、あいさつ川柳）
- 2) 高学年を中心にした児童主体のあいさつ運動の実施
- 3) 朝会で、校長から児童にあいさつの大切さを呼びかける
- 4) 児童の委員会活動とタイアップしていきたい

②楽しく見守るアイデア！！

- ・見守り犬

※両校では見守り犬も、学校に登録しています。



だいち小学校区見守り隊長「モニカ」



神戸祇園小学校区
見守り犬「あんじゅ」

③ “ながら見守り” も OK!!

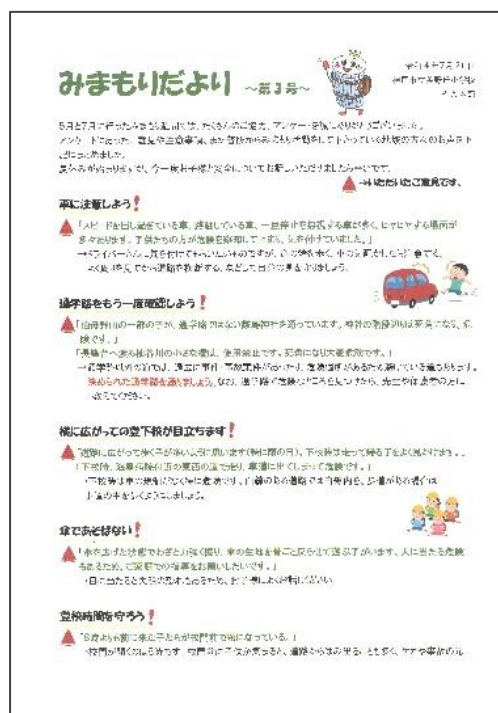
- ・散歩、ラジオ体操、犬の散歩、通勤等々、日常生活を送りながら子どもの見守り。
- ・市自治連作成の腕章は、袖に穴が開かないゴムバンド式なのでポケットからさっと取り出して、ながら見守りにも使えます。



④地域での情報共有とあいさつ運動の啓発



神戸祇園小学校：地域のお祭りで、あいさつ運動の啓発



美野丘小学校：見守りだより（一部）で情報共有

6. あとがき

＜神戸市自治会連絡協議会あいさつ委員会委員長 木下文夫＞

コロナ禍の中、足掛け5年間にわたり取り組んで参りました「あいさつ委員会」ですが、この度、皆さまのおかげで手引書の作成に至ったことは喜びに堪えません。神戸市のそれぞれの小学校校区において、あいさつの機運が盛り上がることは大変意義深いことと受け止めております。

阪神淡路大震災から30年経過した今、特に思い当たることですが、あいさつ運動を実践することによって良好な人間関係が構築されます。防災面でも日頃から培ってきた地域のコミュニティ力が役に立つことは間違いありません。

次世代を担う子ども達の笑顔を守り育てるためにも、地道な活動を皆さまとご一緒に継続していこうではありませんか。

尚、手引書作成に至るには、委員の皆様は勿論のことですが、前神戸市自治連事務局の大黒洋一様には大変お世話になりました。深く感謝と御礼を申し上げます。

令和7年2月12日

あいさつ運動手引書

神戸市自治会連絡協議会

令和 7 年（2025 年）3 月発行

■制作

神戸市自治会連絡協議会 あいさつ委員会

委員長 : 木下文夫（兵庫区）

委員 : 堂内克孝（神戸市自治連会長・灘区）

委員 : 岡本勝利（長田区）

委員 : 石賀暢一（中央区）

委員 : 井指徳信哲（東灘区）

事務局長 : 本田智美（須磨区）

■あいさつ運動ツール・デザイン

神戸大学まちプロジェクト

神戸市自治会連絡協議会

E-MAIL kobe.jichirenkyou@gmail.com

担当 相馬

※今後の活動については神戸市ボランティアマッチングサイト

「ぼらくる」活動レポート・声のページでお知らせします

<https://www.volunteer.smartkobe-portal.com/>

